

講演する内

乳がんの知識学ぶ

女性のための健康セミナーに150人



講演する工藤医師(市多世代ふれあいセンターで)

「しく知らう乳がん」は21日、市多世代ふれあいセンター(旧シルバーふれあいセンター)で開かれた。来場した150人が、阿知須共立病院診療部長

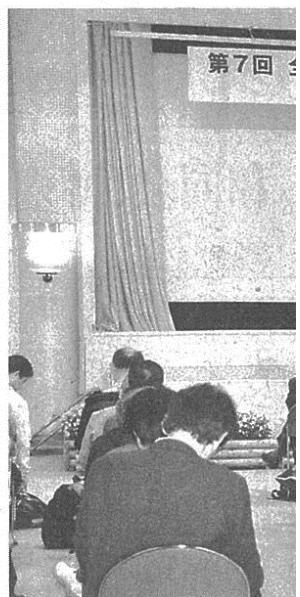
兼外科部長の工藤明敏医師から、自己検診の仕方や乳がんの症状、がん予防対策などを聞いた。

今月のピンクリボン月間に合わせた啓発行事の

一環。乳がんの正しい知識の普及とがん検診の重要性へ理解を深めてもらうのが狙い。

工藤医師は「さあ乳がん検診に行こうー全ての年代の女性のために」をテーマに講演。女性の11人に1人が乳がんになっている現状や発症リスクの高い人などを紹介。自己検診の方法、行つ時期、乳がんの症状、治療の種類なども説明した。

告知を受けた場合には「自分のせいでなったと思わず、一人で悩まないで家族や友人に話すこと」となどと助言。がんの予防へ「バランスのとれた食事」「たばこは吸わない」など12カ条の対策



熊本県荒尾市にまたがる三池炭田など全国の産炭地を巡ってきた。市内では初開催。

関係者は20日に宇部入りし、常盤公園の石炭記

に所属する藤田哲生さん基調講演した後、宇部興産コンサルタント調査部課長で炭鉱を記録する会の事例報告があった。

宇部法人会主催の消費税軽減税率制度の説明会を挙げ、「ちょっととした知識が大きな予防となり、正しい知識が治療につながる」と述べた。(枠水)

新制度に理解深める

宇部法人会が軽減税率説明会

必要な準備を再確認 子育て女性等再就職講座



体験談を語りアドバイスする田中さ
(男女共同参画センターで)

が」のほど、市野球場で開かれた。同会員を中心に、市内の重

者ら70人が参加し、新しい制度への理解を深め

同制度は、2010